

テクノ・ホルティ園芸専門学校
平成29年度 自己点検・自己評価報告書

－ 平成28年度分 －

平成30年1月

学校法人 伊東学園
テクノ・ホルティ園芸専門学校

学校法人 伊東学園 テクノ・ホルティ園芸専門学校
平成28年度 自己点検・自己評価

平成19年に改正された学校教育法及び学校教育法施行規則により、専修学校・各種学校においては「自己評価の実施と評価結果の公表が義務化」され「学校関係者評価の実施と評価結果の公表が努力義務化」された。これに伴い本学でも、より教育の質を高め、社会から信頼される学校を目指し、自己点検評価内容の公表を行うこととした。点検は、文部科学省のガイドラインを参考に10項目について行った。

学校法人 伊東学園 テクノ・ホルティ園芸専門学校
自己点検・自己評価委員

委員長	理事長・校長 伊東 政信
委員	副校長 広報・渉外部長 柴田 潔
	教務部長 古谷 民子
	花と野菜の農業ビジネスコース コース長 実習農場 農場長 萩原 文雄
	フラワーデザインコース コース長 柿沼 真吾
	造園・環境緑化コース 主任 細井 薫
	総務主任 小林 淳子

1.学校の教育目標

教育目標(育て上げようとする人物像)

- ・企業から喜んで迎え入れてもらえる人材
- ・花と緑を通じて人に豊かな気持ちや安らぎ、心地良い環境を提供できる即戦力たる人材
- ・働くことに夢と誇り、やりがいを感じることでできる人材
- ・常に向上心と自らの目標に関する事柄に興味・関心を持ち、創意工夫と努力を怠らない人材
- ・将来のオーナーやデザイナー、第一線で活躍を目指そうとする人材

2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・学生の夢や希望をかなえるために全力を尽くすこと
- ・より魅力的で、実戦的な教育内容とするべく、研究・研鑽を怠らないこと
- <学生の学力などの低下がみられるため、充分に対処すること>
 - ・コミュニケーション能力、基礎学力の向上を図ること
 - ・卒業後の目標が不確かな学生に対しては、根気よく指導を続けること
- <卒業後の進路の拡大を図ること>
 - ・花と野菜の農業ビジネスコース 野菜生産専攻の就職先を積極的に開拓すること
 - ・同様に、全コースの就職先をさらに提供するために、
卒業生や既存の企業とのつながりを太くし、同時に新規企業を開拓すること
- ・分け隔てなく学生募集に協力すること
- ・施設・設備・什器等の管理や財務基盤についても関心を払うこと

評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	○				
2	学校の特色はなにか		○			
3	学校の将来構想を抱いているか			○		

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

学校の理念・目的・育成人材像は定められており、学校の特色もパンフレットやホームページを通じて外部にも発信している。

②今後の改善方策

教育理念・目標については、全教職員が共通理解のもと、日々の業務にあたる必要がある。また、入学希望者、在学生や保護者に対しても上手く周知できるとよい。

③特記事項

(2)学校運営

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	運営方針は定められているか			○		
2	事業計画は定められているか			○		
3	運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか			○		
4	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか		○			
5	意思決定システムは確立されているか		○			
6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか			○		

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

運営方針や事業計画は定められているので、全教職員に浸透していけるとよい。

②今後の改善方策

学校運営に関する事項については全教職員で共有していく。情報システム化に関しては、徐々に効率的な仕組みを導入していく。

③特記事項

(3)教育活動

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか		○			
2	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか		○			
3	カリキュラムは体系的に編成されているか		○			
4	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか		○			
5	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか			○		
6	授業評価の実施・評価体制はあるか				○	
7	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか			○		
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか			○		
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか		○			
10	資格取得の指導体制はあるか		○			

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

授業評価の実施・評価については、まだ体制が整っていない(口頭での聞き取りによる情報収集はある)。新規の講師の開拓がここ数年活発に行われていない。資格取得についての指導体制はおおむね整っている。外部からの職業教育への評価については、教育課程編成委員会の開催によって行っている。

②今後の改善方策

授業評価の実施・評価体制については定期的なアンケートの実施などを通じて整えていく。就職した際に求められるスキル、専門学校としての指導レベルを考慮しながら、今以上のカリキュラムの充実や新規の講師の開拓が必要である。教育課程編成委員会での外部からの評価はカリキュラムの編成にあたり、きちんと取り入れていかなければならない。

③特記事項

--

(4)教育成果

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	○				
2	資格取得率の向上が図られているか	○				
3	退学率の低減が図られているか		○			
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか		○			

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

年度によって若干の変動はあるが、就職率、資格取得率については高水準を保っている。退学率は年間10%前後で推移しているが、より低減させたい。在学生と比較すると卒業生の活躍を把握しきれない部分が多い。

②今後の改善方策

就職率、資格取得率は数字だけでなく、積極的な企業開拓や取得させる資格の取捨選択を行い、質の向上を図っていく必要がある。退学率については保護者とも連携し、一層の低減を図っていく。卒業生の活躍については同窓会とのつながりを強めることで、把握していく。

③特記事項

(5)学生支援

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	就職・進学指導に関する体制は整備されているか		○			
2	学生相談に関する体制は整備されているか		○			
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか		○			
4	学生の健康管理を担う組織体制があるか			○		
5	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか		○			
6	学生の生活環境への支援は行われているか			○		
7	保護者と適切に連携しているか			○		
8	卒業生への支援体制はあるか			○		

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

学生部という組織はないものの、担任、コース担当教員が普段から面談等を通じて各種の相談は受けている。健康診断は実施しているが、校医は置いていない。保護者に対しては、入学式当日の保護者会と2年次の学費納入の連絡の際に行事や就職活動に関する情報を提供している他、就学状況に問題があった場合には個々に保護者と面談を行っている。

②今後の改善方策

保護者に対しての連絡の回数は、普段の学校生活や行事等への取り組みなどの保護者通信のようなものを増やせるとよい。現在、校医は置いていないが、医療機関との連携や、スクールカウンセラーなどの導入を検討する必要がある。卒業生に対しての支援体制は学校側からの積極的な働きかけはあまりできていないため、同窓会組織を整備しながらしくみを作っていくようにしたい。

③特記事項

--

(6)教育環境

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応出来るよう整備されているか			○		
2	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	○				
3	防災に対する体制は整備されているか	○				

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

開校30周年を迎え、若干の施設・設備の老朽化がみられる。

②今後の改善方策

現在、校舎の外壁や空調設備の大規模な改修を進めているところである。また、校内の教育設備や農場の施設などは少しずつ修理、営繕している。

③特記事項

(7)学生の募集と受け入れ

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	学生募集活動は適正に行われているか	○				
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	○				
3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか	○				
4	学生納付金は妥当なものとなっているか	○				

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

学生募集については募集要項に基づき適正に行われている。

②今後の改善方策

学生募集に必要な教育成果について、カリキュラムや就職実績等現状より魅力あるものを提供していく必要がある。

③特記事項

(8)財務

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか			○		
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		○			
3	財務について会計監査が適正に行われているか	○				
4	財務情報公開の体制整備はできているか			○		

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①課題

近年は学生数は増加しているが、財務基盤の中長期的な安定にはいたっていない。財務情報の公開については現在整備を進めているところである。

②今後の改善方策

財務基盤の主となるのは学生数であり、学生数を増やすための魅力あるカリキュラムの作成、充実した就職実績を上げることに注力しなければならない。

③特記事項

(9)法令等の遵守

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	○				
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか		○			
3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか			○		
4	自己点検・自己評価結果を公開しているか				○	

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①課題

これまでも自己点検・自己評価は実施してきたが、結果は公開していなかった。問題点については徐々に改善している。

②今後の改善方策

自己点検・自己評価の結果を公開するにあたり、今一層の委員会の整備、また、委員会委員以外の教職員にも結果とその問題点について共有し、学校全体となって改善することが必要である。

③特記事項

(10)社会貢献

評価項目		点検の進み具合※				
		5	4	3	2	1
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	○				
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか		○			
3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	○				

※ 5:完璧 4:かなり進んでいる 3:普通 2:やや足りない 1:ほとんど進んでいない

①現状・課題

地域の住民を対象とした講座や小学生への講座など園芸を通じた社会貢献に対しては定期的に行っている。また、教育(職業)訓練もここ5年ほどは年間2講座ほどは受託している。学生のボランティア活動については学校側から紹介することはないが、学生からの活動の希望があれば支援していく。

②今後の改善方策

これまで実施した講座や教育(職業)訓練は園芸を通じての社会貢献という点では一定の効果は上がっていると考えられるため、今後も継続していく。学生のボランティアについては学校からの情報提供を増やせるようにしたい。

③特記事項

--